と　き　　２０２５年 ７月 24日（木）１４：００～１５：３０
見学先　　ケアハウスなんぶ幸朋苑　　米子市石井 1238
出席者　【委　員】 鶴亀 寿子、田子 とし子、岸本 保子、高柴 サツコ
【なんぶ 幸朋苑】　中村 泰丈　（なんぶエリア総合施設長）
山脇 一也　（ケアハウスなんぶ幸朋苑 施設長）
藤原 修平　（ケアハウスなんぶ幸朋苑 主任）
【法人本部】　荒井 祐二　（監 事）

なんぶ幸朋苑は、米子駅から直線距離で南へ 2650m. 標高 12m、.米子市石井の地に 1996 年 8 月、特養、老健に加え、通所・在宅系の事業所を開設したのが始まりです。 今回訪問した「ケアハウスなんぶ幸朋苑」は、1999 年 4 月に事業を開始。高齢者の総合福祉施設の中にあり、事業所間の連携が進められています。なんぶ幸朋苑は来年、開設３０周年の歴史を刻みます。

なんぶ幸朋苑　　厳しい暑さの中、稲は順調に成長しています。　　７／２４撮影

荒井監事：体にこたえるような猛暑が続いていますが、皆さんは、いかがお過ごしでしょうか。本日は、**なんぶ幸朋苑のケアハウス**を見学していただきます。はじめに、中村総合施設長から**エリアの状況**を報告してください。

中村総合：明日（７月２５日）は、いなば幸朋苑の３０周年記念セレモニーが開催されます。なんぶ幸朋苑も**来年、３０周年**になりますので、参考にしたいと考えています。なんぶ幸朋苑では、７月２５日（金）は、防災訓練を実施。７月２６日（土）は、**「ながえ祭」**を開催することにしています。吹奏楽演奏や米子がいな祭の万灯披露、模擬店の出店などで、小さなお子さんからお年寄りまで多くの市民が集まります。皆さんもぜひお越しください。

山脇施設長：ケアハウスは、２種類の形態で運営しています。５０名が入居できますが、**一般型の定員２６名**、介護付きの**特定施設の定員を２４名**としています。６０歳以上で自立した生活が可能であれば利用できます。夫婦、兄弟姉妹などで入居する場合、どちらかが６０歳以上であれば利用は可能です。全室個室でミニキッチン、トイレ、洗面所、シャワーなどを配置しています。テレビ、冷蔵庫、洗濯機などは持ち込んでいただきます。
特定施設は、要支援、要介護状態で日常生活に支援・介護を必要とされる人が対象です。食事、入浴、排泄など、それぞれの能力に応じて必要な日常生活における介護予防、介護サービスを提供しています。特養や老健の中間的な施設の利用になっているかと思います。利用料金は、資料で説明。

藤原主任：一般型の入居者は、元気な人が入居されていますので、**自家用車で外出される人もいます。**特定施設の入居者は、外出が容易ではありません。ボランティアによるフルートやハーモニカの演奏会を実施するなど、**楽しく過ごしていただく工夫**をしています。コロナが落ち着いてきましたので、ボランティアの受け入れなどを進めていきたいと考えています。

鶴亀委員：ご夫婦で入居されているケースは、ありますか。

藤原主任：現在**１組のご夫婦が利用**されています。２部屋を利用されています。

岸本委員：入居される場合は、自宅はどうされていますか。

藤原主任：自宅はそのまま残し、入居されているケースが多いと思います。

≪見学後≫

藤原主任：委員の皆さんが見学されている時間帯に食堂で交流していたのは、特定施設の入居者です。特定施設の入居者の平均介護度は３．４、男性２；女性８の割合です。１０３歳の最高齢者が入居されていますが、とてもお元気で、食事は介助なしで自分で食べられます。

鶴亀委員；寅年だという女性（97 歳）と話をしました。もう歳は取りたくないと話されていました。もう一人の人は、ぬり絵を楽しまれていました。おやつも美味しいし、食事は残さず食べていると話されていました。**２階の窓からは、大山が見える**ので食事も楽しいでしょうね、

藤原主任：ここから大山がよく見えますし、田園に囲まれていますので景観がとてもいいです。なんぶ幸朋苑の特色であり、売りになっています。

高柴委員：「ボランティアの人ですか、ありがとうございます。遠くからご苦労様です。」と言われてしまいました。米子の街中に住んでいたが、ここは静かでいいと話されていました。食事やおやつは美味しいですか、と尋ねてみましたが、これについては返答をされませんでした。

藤原主任：難聴や認知症の人も入居されていますので、答えられない場合があるかと思います。

岸本委員：全体的にニコニコされている人が多いと感じました。「ここは食事が美味しい、特に肉が美味しいです。以前からこうした生活がしたかったので、ありがたいです。」と話されていました。
鶴亀委員：幸朋苑では美味しい食事が用意され、入浴介助もあり、職員がいつも見守ってくれているので、**安心して暮らせる**のでしょう。
山脇施設長：難聴の人などは**交流したくても聞こえない**ので、会話が進まない場合があるようです。コロナ禍でいろいろな制限がありましたが、今後は入居者の皆さんが**笑顔になるような取り組み**をしていきたいと思います。スマホやインカムなど ICT の導入で業務の効率化を図り、利用者に接する時間を増やしたいと思います。リハビリの職員が週１回訪れていますので、機能回復に向けた取り組みもしたいと思います。
鶴亀委員：食堂に集まるだけで、**ホットする**と話されていました。自宅で過ごしている時は、誰とも話さず孤独ですからね。
山脇施設長：気軽に会話ができるこの環境がいいのでしょう。
岸本委員：入居者の皆さんは、毎日同じ席に座っておられますか。固定席ですか。
山脇施設長：ほぼ固定席になっていると思います。
田子委員：ここに入居していると、職員の皆さんがいい具合に面倒を見てくださるので安心です。幸せだと思います。利用者家族の一人として感謝しています。ありがとうございます。

中村総合：猛暑の中、来苑していただき、貴重なご意見をいただきました。ありがとうございます。今後も気が付いたことを提言していただくようお願いします。
荒井監事：次回は、８月２８日（木）１０：３０～　キッズタウンさくら保育園 を予定しています。